

FD News letter

最終号
2018年度

CONTENTS

1. 第4回新任者研修会 兼 第6回学部FDセミナー報告
2. 第7回学部FDセミナー報告

1. 第4回新任者研修会 兼 第6回学部FDセミナー

2019年3月5日(金)、13:20~14:50に、第4回新任者研修会 兼 第6回学部FDセミナーが開催されました。本研修会は、実際のPBLの事例を学ぶ機会として、教育開発機構・男女共同参画室との共催で、「ダイバーシティ&イノベーションフォーラムー課題解決型教育プログラム(PBL)ー 成果発表会」と題して実施されました。学生3名、教員25名、職員6名の計35名の参加者がありました。

日経BP総研では、2014年より「ダイバーシティ&イノベーションフォーラム」を発足させ、フォーラムには多くの企業が参加しています。このフォーラムでは、参加企業と大学との共同プログラム「PBLプログラム」が開催されております。男女共同参画室のコーディネートで、今年度は本学より6名の学生がプログラムに参加し、セイコーエプソン株式会社とのPBLを実施しました。このプログラムでは『こんな会社に就職したい！～女性がずっと働きたくなる、今求められるものづくり企業を解明する』をテーマに、本学学生が約1ヶ月にわたりPBLに取り組みました。

発表会当日は、実際に実施されたPBLプログラムの概要説明を行うとともに、参加した学生からの成果発表会を行いました。発表した学生たちは、はじめは緊張した様子でしたが、参加した教職員からの質問にも立派に回答していました。本研修会を通じて、実際



の PBL プログラムの具体例を学ぶとともに、プログラムに参加した学生からの貴重な生の声を聞くことで、本学が目指すべき PBL 学習のあり方について考えるきっかけとなりました。(星 義克 関口和真)

2. 第7回学部 FD セミナー

2019年3月15日(金)15:10~16:50に、世田谷キャンパス1号館12K教室にて、FD専門委員会主催の第7回学部FDセミナーが開催されました。テーマは「学生にとって魅力ある、満足度の高い授業を考える」です。参加者33名(学生4名、教員28名、職員1名)の間で、所属や立場を越えて活発な議論が行われました。

開会の挨拶の後、まず皆川全学教務委員長、岩尾FD専門委員長よりセミナーの趣旨説明がありました。実際に学生から理解度や満足度の向上につながった授業に関して話してもらい、学生と教員との意見交換を通じて、「学生が満足する授業とはどのような授業なのか?」、「教員が考える理想的な授業と、学生が求める授業との間にはギャップがあるのか?」など、日頃取り組んでいる授業に対する気づきの場とし、本学における学部教育改善に資することをねらいとすることなどの説明がありました。

続いて、4名の学生有志(学部1年、修士1年、修士2年、博士2年各1名)による「満足した授業・受けたい授業」に関するプレゼンテーションが行われました。いずれの発表も意欲・意識の高さがうかがえる力作で、参加した教員が思わず苦笑いしてしまうよう

な辛口な提案も見受けられました。発表後には、学生、教職員の垣根を超えて大変活発な意見交換が行われました。最後に皆川全学教務委員長に討論の総括をいただき、閉会となりました。FD活動に学生が参加することで、授業に対する学生の声を直に聞くことができ、有意義なセミナーとなりました。(黒岩 崇)

